

今日で早くも3か月

なんということでしょう。今日は6月最後の登校日。令和6年度がスタートしてから、もう3か月も経ってしまいました。桜の季節から運動会シーズンに直行し、気づけばプールに歓声が響く毎日です。時の流れは速いものだなあと痛感しています。これで1年間の1/4が終わったことになりますが、このペースだと残る日々も流れるように過ぎていきそうです。「毎日を大切に過ごしていかなば」と改めて思いました。

どんなことがあったかな

- ① そう言えば、5月の途中くらいまでは泣きながら登校する1年生がたくさんいました。初めてのことに不安があったり、おうちの人と離れるのが寂しかったりしたみたいです。でも、このごろはすっかり学校に慣れて、笑顔で登校できるようになりました。こうやって、少しずつ人は成長していくのでしょうか。
- ② 運動会がありました。毎年感じるのですが、運動会が終わると子どもたちがなんだか一回り大きくなったように感じます。今年は5月の運動会ということで忙しい準備期間でした。「今の力でできることをやれば十分合格」と確認して臨みましたが、子どもたちは去年の自分をしっかり超えて、やっぱり大きくなってくれました。
- ③ 「自分を超える集会」…略して「じぶこえ集会」が開かれました。児童会長さんが自分の好きな救急車（緊急車両）のことを詳しく、そして低学年のみんなにも分かりやすく説明してくれました。自分の好きなことを究めようとする上級生の姿に元気をもらい、7月には5年生、4年生、3年生も自分の好きなことについて発表してくれるようです。全校の前で、一人で（少人数グループで）発表するのは度胸がいると思います。でも、好きだったらできるんでしょうね。
- ④ 自然な関わりがいっぱいあります。6年生が1年生のお世話をかいがいしくしてくれていることもそうですが、異学年と親しく関わる様子がたくさんあります。それぞれの学年が去年よりも少しお兄さん・お姉さんになって、年下の学年に優しくしたり、児童会活動がんばってお手本になる姿を見せてくれたりしていることはとてもうれしいことです。



川西オリンピック開会式のひとこま

1学期はあとひと月。川西小はますます元気にがんばります。